

2024 年 度

地 理 B

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙の決められた箇所に記入してください。
3. 試験開始後、解答用紙に氏名・受験番号を記入してください。
4. 試験問題はこの冊子の1～13ページに記載されています。
問題冊子の白紙部分は、メモとして使用して構いません。
5. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 貿易についてのヤマダ先生とヒカリさんとの対話を記した次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

ヤマダ先生：貿易が行われるのは何故だろう。最近^①はサービス貿易も増えている。

ヒカリさん：豊かになるからではないでしょうか。日本には海外から食料がたくさん輸入されています。バナナがない生活なんて、私には考えられません。貿易をしない国なんてあるのでしょうか。実際、世界の貿易額は、^②右肩上がりで推移しています。

ヤマダ先生：でも、輸出における相対的な地位を低下させている国もあるよね。^③それに貿易はすべての国に等しく恩恵をもたらしているわけではない。
食料品や原燃料などの一次産品が輸出の中心となっている国は、生産^④量や国際価格の変動によって国全体の経済が左右されやすく、南北問題の原因の一つになっている。

ヒカリさん：そういう国は、自国の資源を利用して自国の経済発展を図ればいいの^⑤ではないでしょうか。

ヤマダ先生：発展途上国のすべてで可能な方法ではないよね。アフリカや南アメリカの発展途上国の中には、一次産品の輸出国にとどまってしまっている国も多い。

ヒカリさん：そのために、国際的な支援が行われているのだと思っていました。^⑥

ヤマダ先生：貿易をしないという選択肢は考えられないだろうか。たとえば、日本^⑦は原燃料や食料品を自給できていないから貿易が不可欠だというのは、本当だと思うかい。

ヒカリさん：必要だから、今でも日本政府は貿易自由化を進めているのではないで^⑧しょうか。

ヤマダ先生：日本政府が貿易自由化を推進しているからといって、そのことで貿易が不可欠だということの証明にはならない。たとえば、再生可能エネルギーをもっと導入したり、米食中心の食生活にしたりすれば、貿易の必要性はだいぶ減るはずだ。日本の農業を支えることも大事だ。^⑨

ヒカリさん：うーん、でもやっぱり私にはバナナがない生活は考えられないです。

〔問い〕

文中の下線部①～⑨に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について、サービス貿易の事例として適切でないものを次の選択肢

あ～え の中から一つ選びなさい。

【選択肢】

- あ アメリカに移住した日本人が、現地で飲食店を起業する。
- い 海外旅行の際に、日本人が現地の飲食店で食事する。
- う 東京の企業がコールセンターをターリエン(大連)に立地する支社にアウトソーシングする。
- え 日本のアニメが、EUで配信される。

2. 下線部②について、貿易依存度(GDPに対する貿易額の比率)について述べた文として適切でないものを次の選択肢 あ～え の中から一つ選びなさい。

【選択肢】

- あ EUに加盟する国々は、貿易依存度が高い傾向にある。
- い 中継貿易の拠点となっている国は貿易依存度が高い。
- う 原材料を輸入して加工品を輸出している日本は、貿易依存度が50%を超えている。
- え アメリカ合衆国は、国内市場が大きいために、日本より貿易依存度が低い。

3. 下線部③について、輸出額を急増させている中国の影響もあり、世界の輸出額に占めるアメリカ合衆国の割合は、2000年代以降低下している。また、アメリカ合衆国の輸出額が相対的に停滞している要因として、生産拠点の海外移転があげられる。生産拠点の海外移転が進められる理由を、次の語群の用語をすべて用いて50字程度で説明しなさい。

【語群】

労働力 土地 現地市場

4. 下線部④に関連して以下の問いに答えなさい。

1) 次の図1は主な発展途上国の輸出品目(2020年)を示したものであり、図1中の A～D は、ウルグアイ、スリランカ、ナイジェリア、モンゴルのいずれかである。モンゴルにあてはまる記号を A～D の中から一つ選びなさい。

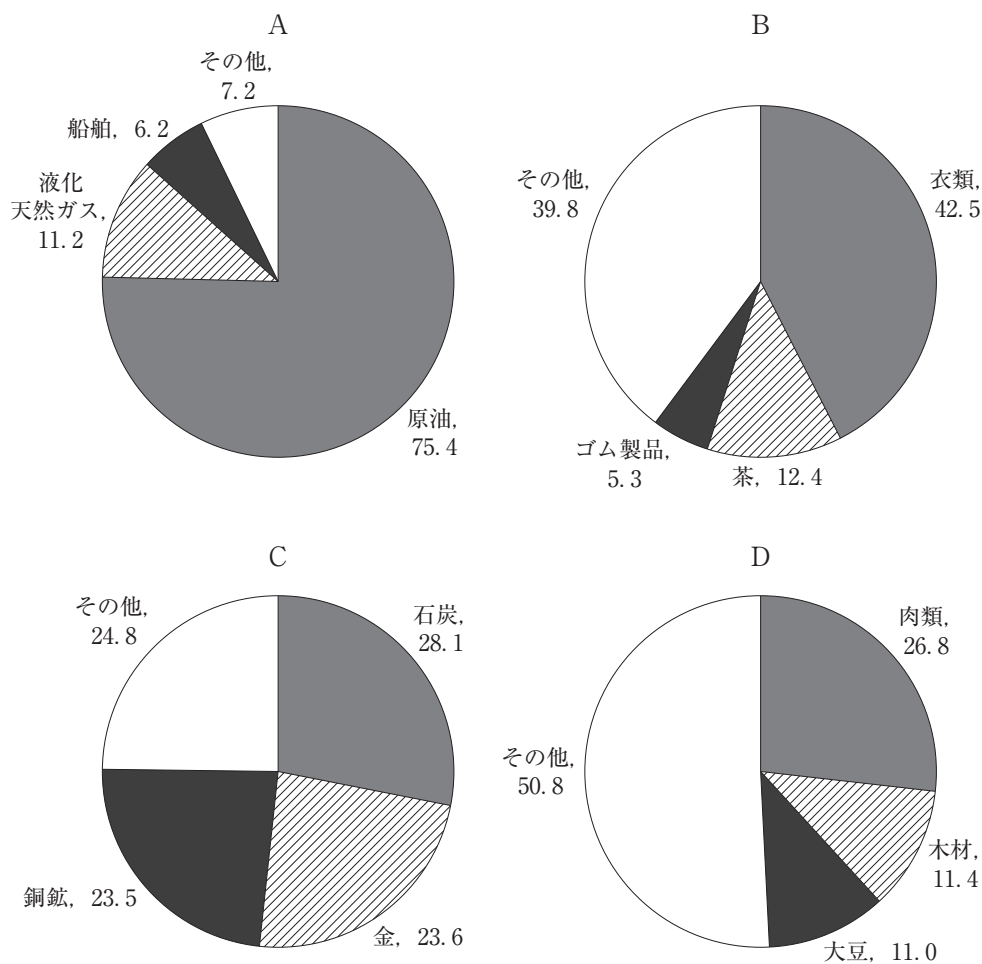


図1 主な発展途上国の輸出品目(単位: %)

『世界国勢図会 2022/23』より作成。

2) アフリカに、一次産品が輸出の中心となっている国が多い理由を歴史的な背景に言及し、50字程度で説明しなさい。

5. 下線部⑤について、発展途上国などが自国内の天然資源に対する主権の確立や、それらをもとに自国の発展を図ろうとする動きを何と言うかを、9文字で答えなさい。
6. 下線部⑥について、国際的な支援について述べた文として適切でないものを次の選択肢 あ～え の中から一つ選びなさい。

【選択肢】

- あ 経済発展を促進するために、近年ではアフリカ諸国に対して積極的にODAが行われるようになっている。
- い UNCTADなどの呼びかけで、発展途上国からの輸入関税を引き下げる特惠関税がとられるようになった。
- う 発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入するフェアトレードという運動が展開されるようになった。
- え アメリカ合衆国の高金利政策などもあり、経済開発を進めていくために借り入れた発展途上国の対外債務は順調に返済された。

7. 下線部⑦に関連して以下の問いに答えなさい。

- 1) 次の表1は日本の輸入品目の品目別割合の変化を示したものであり、表1中の E～H は、機械類、原油、食料品、繊維原料・繊維製品のいずれかである。EとGに当てはまるものをそれぞれ答えなさい。

表1 日本の輸入品目の品目別割合の変化(単位：％)

	E	金属・ 金属製品	F	G	H	その他
1935年(24億7224万円)	4.0	11.9	4.3	38.3	9.6	31.9
1975年(17兆1700億円)	7.4	2.9	34.0	4.9	15.2	35.6
2017年(75兆3792億円)	29.8	5.1	9.5	5.4	9.3	40.9

『地理の研究』より作成。

- 2) 次の図2は日本の貿易収支の推移を示したものである。2008年に貿易収支が悪化したのは、世界金融危機のためである。2010年代前半に、日本の貿易収支がマイナスに転落している要因に化石燃料の輸入増がある。この輸入増の引きがねとなった、自然災害をきっかけに発生した出来事を答えなさい。

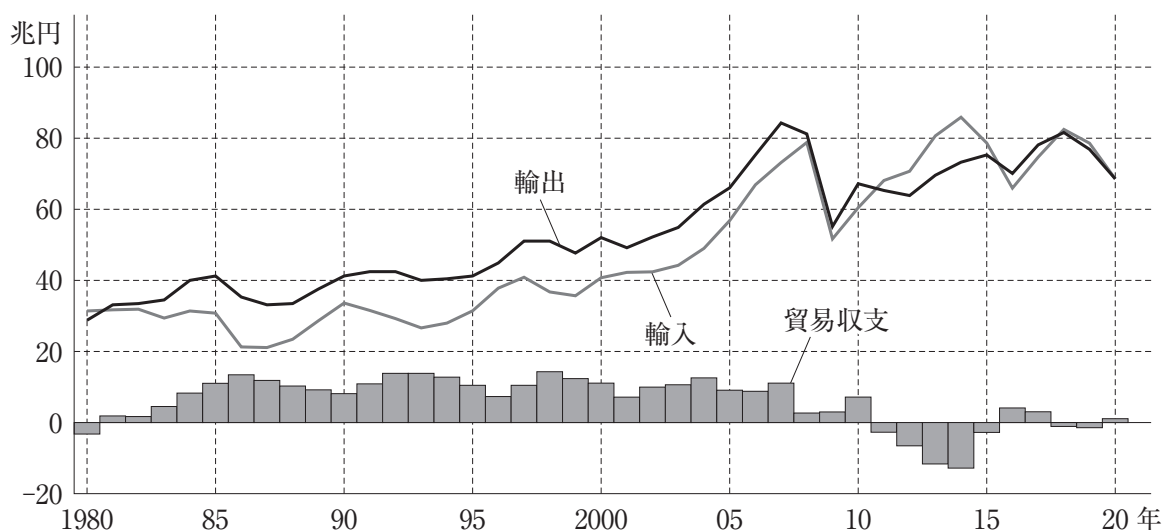


図2 日本の貿易収支の推移

『財務省貿易統計』より作成。

8. 下線部⑧に関連して以下の問いに答えなさい。

- 1) 日本は、近年E P Aに積極的な姿勢をとっている。一般にE P AにはF T Aよりも幅広い分野についての連携が含まれるが、E P AにもF T Aにも含まれる内容として適切な事項を、次の選択肢 あ～えの中から一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | |
|------------|------------|
| あ 投資規制の撤廃 | い 人的交流の拡大 |
| う 知的財産権の保護 | え 関税の削減・撤廃 |

- 2) 太平洋を取り囲む日本を含む11ヶ国(アメリカ合衆国は2017年に離脱)は2018年に

X

^{イレブン}11という協定を発効させた。Xに当てはまるアルファベット3文字を答えなさい。

9. 下線部⑨について、ある輸入品が急増し、これと競合する自国の産業が深刻な打撃を受ける恐れのある場合に、輸入の制限もしくは禁止する措置を何と言うかを、次の選択肢 あ～えの中から一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | |
|----------|--------|
| あ セーフガード | い 保護貿易 |
| う 貿易摩擦 | え 報復関税 |

Ⅱ 南米について述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

南米は、大陸の6割以上が赤道の南北両側23度26分を走る緯線である a 内に位置しており、その圏内は熱帯性の気候である。西部にはアコンカグア山を最高峰とする b 山脈が南北に走っており、この山脈より東および大陸の南には様々な気候帯がみられる。 b 山脈から流れ出した水流は大陸の北部を約6,500kmにわたって横断するアマゾン川を形成し、その河口から約1,500km上流に位置する都市である c では、アマゾン川は大河となり、もう一つの大河であるネグロ川と交わる。 c は積出港としても知られており、また保税輸出加工区にも指定されている。

南米大陸の主要部を占め、最大の国土面積を誇るブラジルは、その約6割が高原であり、アマゾン川流域には生物多様性に富んだ熱帯雨林の盆地が広がっている。そして、南東部には平均標高が1,000mのブラジル高原が広がっている。一方、南米大陸で2番目の国土面積を有する d では、首都を中心に半径約600kmにわたって温帯草原が広がっている。

大農園の開拓は、大規模な森林の伐採や鉱物資源の採掘と共に深刻な環境問題を引き起こしてきた。特に、生物多様性に富んだアマゾン川流域の熱帯雨林地域では、これらの開発によって土地の荒廃が大幅に進んでいる。

〔問い〕

(1) 文中の空欄 a～d にあてはまる語句を答えなさい。

(2) 文中の下線部①～⑤について、以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について、この山脈の先住民族であるインカの人々によって古くから栽培され、やがてヨーロッパ人の入植を経て世界に広められた作物 X の名称を、主な生産国を示した次の表 1 を参照して答えなさい。

表 1 X の主な生産国(単位：千 t)

国名	2021年
中国	67, 538
インド	21, 181
トルコ	13, 095
アメリカ合衆国	10, 475
イタリア	6, 645

『世界国勢図会 2023/24』より作成。

2. 文中の下線部②について、図 2 は、次の図 1 中の都市 A～C のいずれかの雨温図である。雨温図 ウ に当てはまるものを、図 1 中の地点 A～C の中から一つ選び記号で答えなさい。

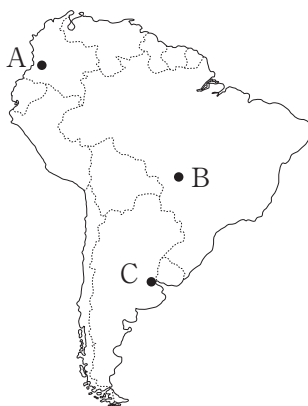
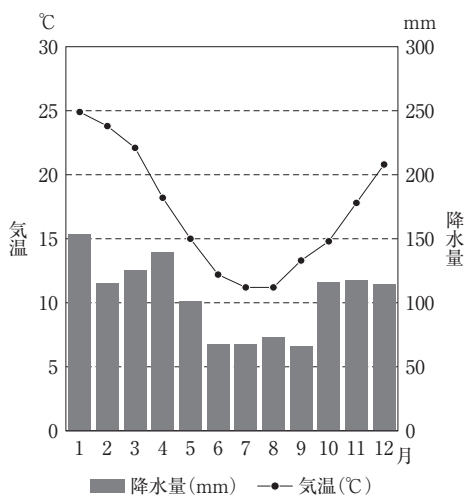
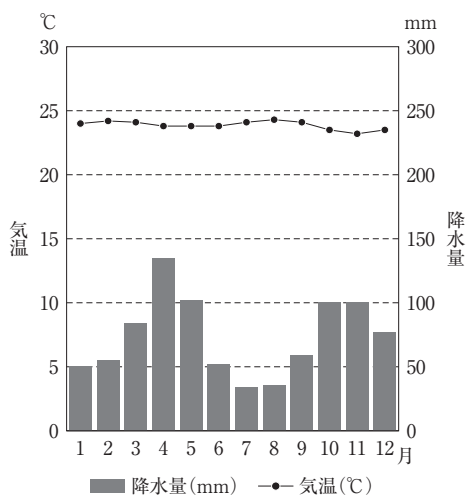


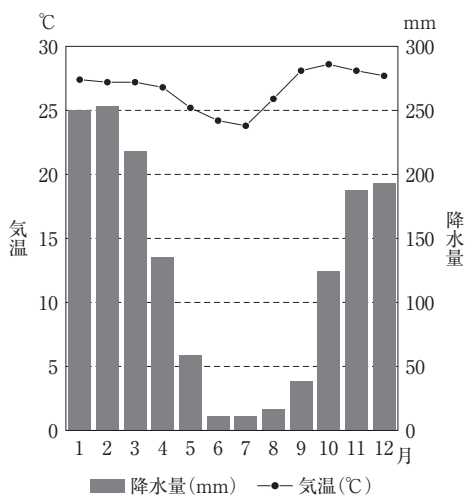
図 1 南米の地図



ア



イ



ウ

図2 雨温図

『気象庁 世界の地点別平年値』より作成。

3. 文中の下線部③に関連して、次の問いに答えなさい。

1) この高原の南部に分布する、玄武岩や輝緑岩の風化によって形成された土壌の名称を答えなさい。

2) この高原南部が世界的な栽培地として知られる作物を答えなさい。

4. 文中の下線部④について、この一帯の名称を示し、栽培される作物や飼育される家畜に着目しながら、そこでどのような農業が行われているかを、次の語句を用いて80字程度で説明しなさい。

【語句】

年降水量550mm

5. 文中の下線部⑤に関連して、次の問いに答えなさい。

1) この熱帯林の土壌を示す適切な用語を次の選択肢 あ～えの中から一つ選び、記号で答えなさい。

【選択肢】

あ レグール

い チェルノーゼム

う 栗色土

え ラトソル

2) この一帯で大規模な伐採が行われると森林資源の回復が難しい理由を、次の語群の用語をすべて用いて40字程度で説明しなさい。

【語群】

肥沃な表土 降雨

3) アマゾン盆地に広く分布する熱帯雨林の名称を答えなさい。

Ⅲ 人口について述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

現代社会において人口のありようが経済や社会に与える影響は大きい。人口の増減は、自然増減と社会増減に分けられる。^①自然増減は基本的には出生数と死亡数の差によって決まり、社会増減は特定地域の転入数と転出数の差によって決まる。^②

自然増減は、多くの国ではその経済発展によって、特定のパターンをとることが知られており人口転換論と呼ばれる。人口転換論が示すところによると多くの国では、 型の社会から 型の社会を経て、 型の社会に変化する。なお、高齢者が人口の %を超えた社会を、超高齢社会と呼ぶ。

日本も人口転換論が当てはまる。第二次世界大戦まではおおむね 型の社会であり、1960年頃には 型の社会へと移行した。人口構成の変化に伴い、他国と同様に現代の日本では少子高齢化が進展している。^③

〔問い〕

- (1) 文中の空欄 a～d にあてはまる語句を次の選択肢 あ～き から選び、それぞれ答えなさい。

【選択肢】

あ 多産少死	い 多産多死	う 少産多死	え 少産少死
お 14	か 21	き 28	

- (2) 文中の下線部①～③に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について、次の表1の A～E は、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、北アメリカ、南アメリカの人口にかかわる指標をまとめたものである。A～E のうちヨーロッパにあてはまるものを一つ選びなさい。

表1 世界の地域の人口にかかわる指標

	2020年の 人口(単位： 100万人)	2000～2020年 平均増加率 (単位：%)	2021年の 人口密度(単位： 人／km ²)
A	4,664	1.12	151
B	1,361	2.57	47
C	746	0.13	34
D	594	1.01	28
E	432	1.06	25
オセアニア	44	1.72	5

『データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版』より作成。

2. 下線部②について、次の表2はイギリス、オーストラリア、フランス、ドイツにおける「外国人人口の流入元の国別順位」である。AとCに該当する国として正しいものを、それぞれ答えなさい。

表2 外国人人口の流入元の国別順位(2020年)

	1 位	2 位	3 位	4 位
A	インド	中国	ルーマニア	イタリア
B	ルーマニア	ポーランド	ブルガリア	イタリア
C	アルジェリア	モロッコ	イタリア	チュニジア
D	インド	中国	A	フィリピン

※イギリスは2019年のデータである。

『データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版』より作成。

3. 下線部③に関連して、以下の問いに答えなさい。

1) 次の表3は1950年、2021年、2050年の年齢階層別の人口割合であり、A～Dは、フランス、エジプト、韓国、ブラジルのいずれかが当てはまる。韓国にあてはまるものをA～Dから一つ選びなさい。

表3 1950年、2021年、2050年の年齢階層別の人口割合(単位：％)

	1950			2021			2050		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
日本	35.4	59.7	4.9	11.8	58.4	29.8	11.1	51.4	37.5
A	42.9	54.3	2.7	11.9	71.5	16.7	8.2	52.4	39.4
B	38.7	58.3	3.0	33.1	62.2	4.8	25.1	65.1	9.8
C	22.7	65.9	11.4	17.4	61.3	21.3	15.3	56.1	28.5
D	42.5	55.1	2.4	20.5	69.9	9.6	14.9	63.2	21.9

『データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版』より作成。

2) 日本の高齢化に伴って懸念される地方部の課題として限界集落と呼ばれる地域の増加がある。限界集落とはどのような状況の集落であるかを、次の語群の用語をすべて用いて60字程度で説明しなさい。

【語群】

高齢者 5割 共同生活